

行政改革実行プランの取組結果について

本市では、平成28年度から令和2年度までの5年間を対象期間とした行政改革推進計画（行政改革実行プラン）を策定し、第5次鶴ヶ島市総合計画の将来像の実現のため、以下の3つの基本方針に基づき、行政改革に取り組んできました。

〈行政改革の基本方針〉

- 1 財政の健全化 2 組織のスリム化 3 職員意識の活性化

令和2年度末をもって、計画期間が終了しましたので、取組状況及び効果額を公表します。

行政改革実行プランにおける財政効果額

12億3,700万円（目標額に対し、5億2,500万円増）

【内訳】

《財政の健全化》

8億1,600万円（目標額に対し、3億1,700万円増）

《組織のスリム化》

4億2,100万円（目標額に対し、2億800万円増）

【方針1】 財政の健全化 〈目標効果額〉 4億9,900万円

〈方針の柱1〉 積極的な歳入の確保 (単位 万円)

NO	取組	策定時の 効果額	実際の 効果額	比較増減
1	自動販売機等の有料設置の拡充	4,000	3,317	△683
2	広告付き案内表示板等の有料設置	650	659	9
3	ふるさと納税制度の活用	32,500	39,763	7,263

〈方針の柱2〉 歳出の削減 (単位 万円)

NO	取組	策定時の 効果額	実際の 効果額	比較増減
13	超過勤務の縮減	7,280	12,308	5,028
19	集団資源回収報償金の見直し	720	734	14

〈方針の柱3〉 ファシリティマネジメントの推進 (単位 万円)

NO	取組	策定時の 効果額	実際の 効果額	比較増減
20	普通財産の売却	0	19,608	19,608
21	公共空地の有効活用	0	135	135
22	道路敷地未利用地の有効活用	640	410	△230
24	中央図書館借地の返還	200	0	△200
25	鶴ヶ島東部保育所の廃止	3,980	4,692	712

〈結果〉

市所有資産の有効活用等による歳入確保、既存業務の見直しによる歳出抑制・削減に取り組み、目標額に対して、3億1,700万円の効果を挙げました。財政の健全化のため、今後も歳入確保、歳出抑制に取り組みます。

【方針2】組織のスリム化 〈目標効果額〉 2億1,300万円

〈方針の柱1〉事業の見直し

(単位 万円)

NO	取組	策定時の 効果額	実際の 効果額	比較増減
31	市民活動推進センターの運営の見直し	5,000	4,628	△372
32	公害調査実施頻度の見直し	350	354	4
34	運動公園の管理運営の見直し	520	476	△44

〈方針の柱3〉実行力の高い組織の構築

(単位 万円)

NO	取組	策定時の 効果額	実際の 効果額	比較増減
48	職員定数の適正化	15,480	36,696	21,216

※No48 実際の効果額は、834万円(令和2年度の1人あたりの人件費)算定

〈結果〉

指定管理者制度導入施設の拡大や職員定数の適正な管理などにより業務量と職員数の削減に取り組み、目標額に対して、2億800万円の効果を挙げました。組織のスリム化のため、今後も選択と集中の徹底により、事務事業等の見直しに取り組みます。